

令和2年度宮津市総合教育会議（第2回）開催結果概要

日 時：令和3年2月15日(月) 午後2時30分～4時30分
場 所：宮津市福祉・教育総合プラザ(第1コミュニティルーム)
出席者：城崎市長、山本教育長、伊藤教育長職務代理者、田崎
教育委員、尾崎教育委員、藤井教育委員、事務局職員

1 開 会（市長あいさつ）

2 議 題：次期の『宮津市教育大綱・教育振興基本計画』の策定について

〇：前回会議の振り返り（大綱・計画の骨格についての修正点に係る確認）

【資料0】令和2年度宮津市総合教育会議（第1回）開催結果概要

【資料1】『宮津市教育大綱・教育振興基本計画』（中間案の案）の概要

<意見交換等の概要>

- ◆教育の基本理念は「豊かな学びを深めてふるさとを愛する人づくり」とする。
- ◆めざす人間像は「変化していく社会で、ともに学び合い、挑戦し、ふるさと宮津への愛と誇りを持って、明日の宮津を創造していく人」とする。
- ◆教育の振興に係る基本方針は「心豊かで生きがいのある人生を創造する学びの推進（社会教育・人権教育）」「明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成（学校教育）」「豊かな心と体を育む文化芸術・スポーツの推進（文化・スポーツ）」「豊かな歴史文化の継承・活用（文化財保存・活用）」とする。

1：『宮津市教育大綱・教育振興基本計画』の中間案の確定に向けた意見交換

【資料2】『宮津市教育大綱・教育振興基本計画』<中間案の案>

<意見交換等の概要>

【全体を通して】

- ◆「教育の基本理念」の説明文のところに、人権の尊重や多様性への対応などの視点を盛り込んでおく方が良いのではないか。
- ◆学校教育の分野では、先を見越したICTの活用が盛り込まれているが、他の分野でも、VR・ドローン・QRコードの情報技術など、ICT活用の視点を入れられれば。

【社会教育・人権教育の振興に係る基本方針と主な施策】

- ◆差別や人権侵害を受けたことがある割合が高いように思うので、人権の問題などの現代的課題を減らすために、公民館等での学習の場を増やしていく必要がある。
- ◆自分の体験として生の声で話されるトランスジェンダーの方の講演はとても心に残っている。本物の体験、生の声が聴けることができる研修をもっと市民にも。
- ◆今の図書館の環境は素晴らしいので、市民のニーズを調査しサービスを充実させ、さらに市民が利用するような場にしていく。協働、共創をいろいろなところで展開

していくために、例えば、本を借りた記録が預金通帳のように見える化し、読書を楽しめるように喚起するなど、アイデアを市民と一緒に考えていけたらよいと思う。

- ◆「おとなのふるさとみやづ学」を通して、生涯にわたって豊かな学びができるようにつなげたい。生涯学習は、生きがいと潤いをもたらす。どんな歴史や文化伝統、環境があるのかを学ぶことが、宮津市民のアイデンティティを醸成し、それがやがて共創の理念につながる。地域のことを話し合ったり、自分ごとにして考えたりすることが地域の活力となり、まちづくりの原動力となる。「市民の、市民による、市民のため」のふるさとみやづ学へ。単なる生活の場ではなく、自分の人生をより豊かに実現する舞台として、ふるさと宮津に愛着や意識を持ってもらえるように。
- ◆まずは宮津をよく理解することが大切。自分のことを理解できていない状況では他のことも理解できない。理解することが気づきが変わっていくと思う。そういう意味で、地域について理解をどんどん深めていく「ふるさとみやづ学の構築」は大切。
- ◆小・中学校で子ども達が「ふるさとみやづ学」を学び、いろいろな機会に発表してはいるが、まだまだ市民の中に広まっていないと思う。自分達の住む宮津について知る機会をつくるために、副読本「わたしたちのまち宮津市」を誰でも見るができるようにすることで、市民が学びたくなるきっかけが生まれるのではないかな。

【学校教育の振興に係る基本方針と主な施策】

- ◆道徳教育など充実させ、子どもの気持ちを育てることが必要。いじめ等のケアもしっかり目を向けてやっていくことが大切。
- ◆ICT教育の環境が整ったことがゴールではなく、その先の活用がポイントである。
- ◆個別最適化された学びがキーポイントで、誰かと比較するのではなく、過去の自分と比較しながら、伸びがわかるということが大切であると考え。
- ◆教育効果の向上につながる働き方改革を進めている中で、専科教員の配置など、具体的な取組みを明記した方がよいと思う。
- ◆家庭学習の習慣化等、家庭と連携した学力向上の成果の「見える化」をしてほしい。

【文化・スポーツの振興に係る基本方針と主な施策】

- ◆宮津会館が使えなくても、文化ホールや体育館など、今ある施設での有効活用を。
- ◆一流の人との交流など本物にふれる機会を大切にしてほしい。また、スポーツ推進委員の活動などを明記した上で、スポーツに親しむ機会の充実を図ってほしい。
- ◆スポーツや文化は人生を豊かにする。これまでの既存の文化団体だけでなく、新しい取組みをしようとする団体もしっかりと支えることが重要ではないかな。

【文化財保存・活用の振興に係る基本方針と主な施策】

- ◆足を運んで実際に本物を見る機会をたくさんつくってほしい。目の前に豊かな歴史があるのに、なかなか市民が知っている状況にない。興味が湧いてくるような形をつくり、市民が宮津のことを語れるようになればよいと思う。
- ◆ユニークベニュー活用や、文化芸術とサブカルチャーを引っ付けるなど、ハイレベルの文化芸術も大事であるが、サブカルチャーも含めて文化芸術を広めていく必要がある。これらを上手に活用すれば、文化振興につなげられると考える。

- 3 閉 会 ※大綱・計画の中間案に係るまでの議論が終了。意見交換の内容を反映させてものを「中間案」とし、市議会へ報告、パブコメを実施。そして、次回会議において大綱・計画の確定へ。